平成30年度岐阜市女性センター主催

女性の活躍を応援します！

託児あり

女性の活躍応援セミナー（連続5回コース）

自分の強みや勉強の必要性を理解し、モチベーションを高めて再就職のために必要な知識を習得します。

日時：5月16日～6月13日　毎週水曜日 10時～ 12時
講師：菅田 芳恵さん（特定社会保険労務士）

女性の活躍スキルUPアカデミー 起業・創業編（連続3回コース）

夢に向かって一歩踏み出せるよう起業の仕方や宣伝の仕方など、具体的な方法を学びます。

日時：9月5日～ 10月3日　隔週水曜日　10時～ 12時
講師：栗田 康代さん（株式会社Allied 代表取締役）

New 女性の活躍スキルUPアカデミー グループリーダー編（連続2回コース）

リーダーに必要なマネジメントスキルを習得し、部下や後輩をまとめ、やる気を引き出す立場の女性リーダーのあり方を学びます。

日時：10月20日～ 27日　毎週土曜日　13時30分～15時30分
講師：吉居 理奈子さん
（株式会社ライフスタイル・ウーマン 代表取締役）

受講者の活躍

ほっぺの会 代表
伊藤 惠さん

平成22年度「チャレンジ支援セミナー」受講

「このまま、人生を進んでいいのだろうか？」と悩んでいた時、チラシの中でみつけた『輝く』という言葉に惹かれ、女性センターの講座を受講しました。講師の言葉が心に残り、「私いいかも」「やれるかも」と思いました。その後、地元児童センターでの食育講座を皮切りに、月1回の食育講座ほっぺの会がスタートました。あれから丸７年。みんなの森ぎふメディアコスモスを拠点に、岐阜県の各地で心と身体の健康をもとに活躍する支援をしています。

想いは叶う。自分らしさを知ることと一歩踏み出すことが、なりたい自分の未来をつくっていくことを学びました。

INFORMATION

岐阜市女性センター
（ハートフルスクエアー G　2階）

でかけてみませんか！

男女共同参画社会の実現を推進するための拠点施設です。JR岐阜駅高架下、東エリアにあり、交通の便の良いところです。どなたもお気軽にお立ち寄りください。

学びたい『みんなで楽しい講座のひとときを…』

男女共同参画についての理解を深め、あたらしい自分への世界に踏み出すための講座などを開催しています。

女性の活躍応援セミナー、女性の活躍スキルUPアカデミー、男女共同参画講座、ワーク・ライフ・バランス講座など

●講座中の無料託児もあります。（申込み時要予約）

交流したい『新しい生き方を探して…』

男女共同参画社会の実現に向けて活動する市民団体で例会（ハートフルネットぎふ）を開催し、交流を深めています。また、「ハートフルフェスタ」、「男女共同参画週間事業」等を開催し、市民のみなさんとの交流の場を広げます。

困った『ひとりで悩まないで…』

電話相談（一般）　0120-786874（ナヤムハナシ）

受付日時：月曜～土曜　午前10時～12時、午後1時～4時
毎月第1・3金曜日は午後5時～ 8時も受けます。
（ただし祝日・休館日・年末年始・イベント開催日などを除く）

面接相談（専門）要予約
TEL（058）268-1052　無料　秘密厳守

法律（弁護士）・心（カウンセラー）・健康（看護師・助産師）
家計（1級ファイナンシャル・プランニング技能士（CFP®））
女性のための再就職相談（キャリアカウンセラー・産業カウンセラー）

女性の生き方・働き方大相談会（年2回）

専門家がみなさんの身近な悩みを一緒に考えアドバイスします。
（働く女性のメンタルヘルス、起業・創業、DVや子どもの発達、税金　など）<予定>
※詳しくは広報ぎふまたはホームページにてご確認ください。

知りたい『最新情報の発信を…』

「ぎふし男女共同参画情報紙『織』」「男女共同参画啓発誌『Light』」「女性センター NEWS」等の発行や「男女共同参画啓発パネル」「子育て情報コーナー」「岐阜労働局雇用環境・均等室コーナー」を常設しています。男女共同参画に関する「図書」や「DVD」の貸出も行っています。

編集・発行　岐阜市女性センター
指定管理者：（公財）岐阜市教育文化振興事業団
〒500-8521 岐阜市橋本町1-10-23　ハートフルスクエアー G内
TEL（058）268-1052　FAX（058）268-1057
ホームページ　岐阜市女性センター　検索
2018年3月発行

ぎふし男女共同参画情報紙
女糸と男糸がつむぐ社会
―いごこちのよい人間模様の布を織るために―
2018 VOL.15

織 特集

わたしの きもち きいてください

なりたい自分になる!!

あなたの きもち きかせてください

～平成28年度 岐阜市男女共同参画に関する市民意識調査報告書の結果から～

編集委員による座談会

9年ぶりに「岐阜市男女共同参画に関する市民意識調査」が行われました。前回の調査から市民の意識はどのように変化したのか読み解きながら、編集委員で座談会を行いました。

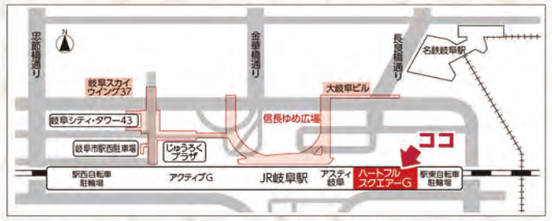
↑座談会の様子

↓女性の活躍応援セミナーの様子

平成29年度 女性の活躍応援セミナーを修了した市民編集委員が企画編集しました

ハートフルスクエアーG　岐阜市女性センター

- 開館時間　午前9時～午後9時
- 休 館 日　毎月最終火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日）
  年末年始（12/29～1/3）



特集

座談会

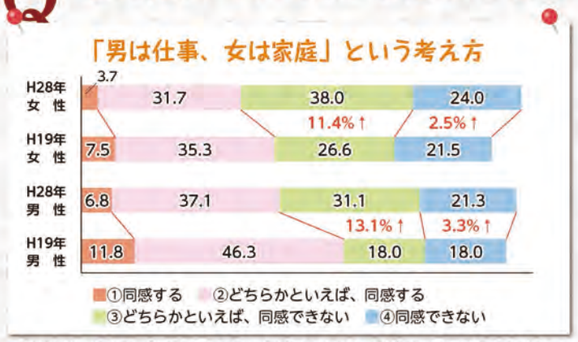
わたしの きもち きいてください

なりたい自分になる!!

あなたの きもち きかせてください

～平成28年度 岐阜市男女共同参画に関する市民意識調査報告書の結果から～

Q 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか。



● 9年前に比べて、「同感できない」「どちらかといえば、同感できない」という回答を合わせて、男性が16.4%　女性が13.9%上昇した。

原瀬美緒さん

原瀬：「同感できない」という考え方が増えて意識は変化してきていますが、制度を利用して育児休業から復帰しても、男性と同じスタートラインに立つのは難しいですね。

大橋：もし私が結婚前にこのアンケートに答えていたら、「同感しない」を選んでいたと思います。それは、自分も働きたいし、男女平等と考えていたからです。でも、実際は結婚・出産のため、家庭を選びました。現実的に考えると「夫は仕事、女は家庭」となる人が多いのかもしれませんね。

佐藤：女性でも「同感する」という意見が思っていたより多く、驚きました。

甘利：偶然ですが、3000人の１人として、このアンケートに答えました。「現在の生活が幸せ」と前向きに回答できたのなら、どんな答えでもいいと思います。一人ひとりの気持ちが大事だと思います。

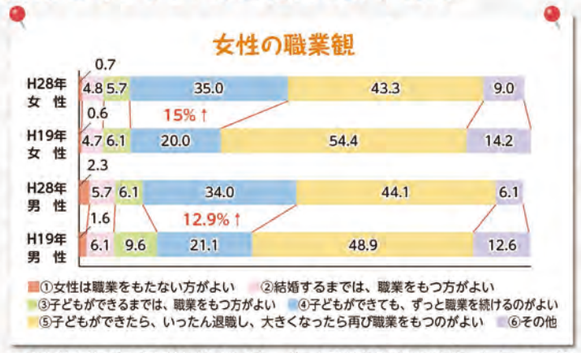
Q これからは、どんな環境や働き方が求められていくと思いますか。

桑原：性別役割分担意識があるから、仕事を続けるか退職するか迷う女性が多いと思います。夫や職場の上司など男性のサポートが受けられる環境だったら、女性の仕事に対する考え方も変わると思います。

原瀬：グラフにもあるように、女性は何らかの形で働き続けたいし、それを後押ししたい男性も増えています。でも、職場や周りの理解が足りないのが現状です。家事や育児は、仕事並みの労力が必要であることに気づき、社会全体で働き方も見直してほしいです。

大橋：「子どもができても、ずっと職業を続けるのがよい」という事は、「家事も半分ずつ分担する」ということ。女性が男性と同じように働くには、家事や育児などをシェアし、協力し合える環境が求められると思います。

大橋美紗子さん



● 9年前と比べて「子どもができても、ずっと職業を続けるのがよい」という回答が、男性は12.9%　女性は15%上昇した。

●男女共同参画に関する市民意識調査　回収状況

	実施配布数	回答数
平成19年	3000	1663
平成28年	3000	1569

調査対象：岐阜市内に在住する18歳以上(H19年は20歳以上)の市民3,000人(男女各1,500人)
抽出方法：住民基本台帳から無作為に抽出
実施方法：郵送配布・郵送回収
調査期間：H28年7月～8月初旬(H19年10月1日～10月18日)

POINT 育児休業制度のいろいろ

育児休業の制度
育休は法律で定められた制度です。会社に育休制度がなくても、就業規則に育児休業の規定がなくても取得できます。

●働きながら育児をするパパママへ

パパ・ママ育休プラス

両親がともに育児休業を取得する場合、原則子どもが1歳までの休業可能期間が、子どもが1歳2か月に達するまで延長されます。

●仕事と家庭の両立支援に取り組む事業主等のみなさまへ

出生時両立支援助成金制度があります！

男性が育児休業を取得しやすい職場風土作りの取り組みを行い男性が子の出生後8週間以内に開始する連続14日以上（中小企業は連続５日以上）の育児休業を取得させた事業主に、育休1人目は57万円、2人目以降は14.25万円が支給されます。

※内容については、変更される場合があります。詳しくは、下記へお問い合わせください。

詳しくは 厚生労働省 検索 または 岐阜労働局　雇用環境・均等室へ　**電話番号：058-245-1550**

Q 「女性活躍推進法」が平成28年4月施行されましたが、「女性が活躍する社会」には必要だと思いますか。

岩田景子さん

牧野妙子さん

岩田：女性が活躍する社会へと男性がようやく目を向けてくれたと思います。個性を活かした働き方も選べて、女性が社会で活躍することが当たり前となる世の中になってほしいです。

大橋：専業主婦や正規・非正規労働、フリーランスなど色々な働き方があります。今までの固定概念を徐々になくして、お金を生む、生まないに関わらず、それを認め合う環境が大事だと思います。

牧野：制度や会社が変わることも必要ですが、まず女性自身が意識を変えて、どの選択をしても「自分の生き方」と、自信を持てたら良いと感じています。

佐藤：家事が得意ではないのに、女性の役割だと抱え込んだ時期は、自分らしさがありませんでした。女性が活躍するには、まずは「自分を信じる力」が必要です。さらに、それを応援し合える環境があれば大きな力になると思います。

POINT 女性の働きやすい環境を整備！ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律

この法律の概要

女性の個性と能力が十分に発揮できる社会の実現のため、国、地方公共団体、企業それぞれが女性労働者に対する活躍の推進に関する取組を実施するよう求めています。

現在、女性が結婚、出産そして介護などでやむを得ず退職することが多くあります。急速な人口減少社会を迎え、労働力不足が懸念される中で、自らの意思によって職業生活を営み(又は営もうとする)女性の個性と能力が十分に発揮されることがより一層重要です。

Q なりたい自分になる!! 今できること これからやってみたいことは何ですか。

岩田：もともと家事や介護に協力的な夫ですが、女性センターでの「学び」や「気づき」を一つ一つ共有してきたので、夫の意識を変え、さらに協力的になってきました。これからも二人三脚でやっていけるような関係づくりをしていきたいです。

桑原：編集委員になり、やりたいことに前向きな皆さんを見て、自分の思いは言っていこうと思えました。以前は、家事や育児は私がすべてやらなければと、夫に「美容院に行きたい」ことも言えませんでした。今は伝えられるようになり、悩んでいたことも理解してもらえます。「自分の意思を伝えることが大切」と、子どもにも伝えていきたいです。

牧野：「今までの自分」「今後なりたい自分」を考えてみたら、マイペースで動けば良いと思います。やりたいことも少しずつ見えてきたので、それを形にできるよう動いていきたいです。

原瀬：女性はライフイベントごとに働き方を変え、その都度家庭や仕事のバランスに悩まされています。でも、この時間があるから、「違う一歩」が踏み出せると前向きになりました。これからも自分と向き合う時間をつくっていきたいです。

大橋：出産後は子ども中心の生活になり自分のしたいことを考える時間さえも忘れていました。子どもと離れて、自分のことを話せる時間は大事だと思います。新しい自分も発見ができ、モヤモヤしていたものがスッキリしました。これからは、自分の時間も大事にしながら、沸々と湧いてきた夢を伝えていきたいです。

佐藤：学校を作るという大きな夢を持つことができました。これからは、夢を心に留めないで人に伝え、少しずつ進めていきたいです。そうすればきっと叶うと思います。

甘利：女性の、男性のという性別だけではなく、個性というとらえ方をしていけると良いと思います。母親同士が集まると、子どもの話題になりがちです。これからは、自分自身がどうしたいのか語り合える仲間がいたら、自分の人生を変えていけると信じています。

桑原晶子さん

甘利 翠さん

佐藤裕子さん

おすすめ図書!!

育児は仕事の役に立つ「ワンオペ育児」から「チーム育児」へ

- 「専業主婦」は少数派になる!?
- チーム育児でリーダーシップを身につける
- ママが管理職になると「いいこと」もある
- なぜママは「助けてほしい」と言えないのか　ほか

マンガでわかる! 共働きファミリーの仕事と子育て両立バイブル

仕事と子育ての両立にはコツがあった！

- 妊娠を職場に報告するとき
- 職場復帰前の面談準備のコツ
- 時短？定時？働き方どう選ぶ

ほか